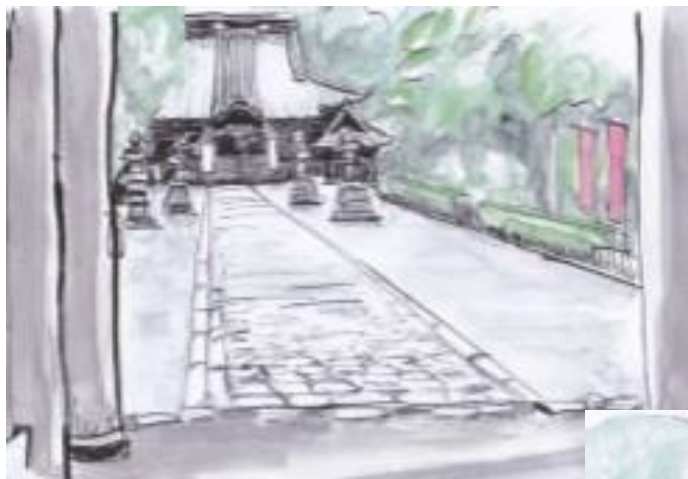


足利風 -ashikaga-fu

2015
6月号

Vol. 38



画：新島 旭



足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

＊「ユマニチュード」の“立つ”ということ＊

足利義兼ゆかりの樺崎八幡宮で大吉のおみくじをひいた。

～さくらばな のどかに におう 春の野に 蝶もきてまう そでの うえかな～

阪神淡路大震災から二十年が過ぎ、あの時神戸で被災した高校生が、東大を経て社会人となった今、自身の体験をふまえて、すべてを捧げて福島で、子どもたちの教育活動を始めた、という話を聞いた・・神戸の経験を福島で生かすために・・。また、釜石の、俳人でもある女性教師は避難所生活の体験をまとめた句集を出した～昼は雪が舞ったのに夜は晴れた。満天の星だ。夜空を仰ぎながら思う。“津波で亡くなった人たちがいま、昇天しているんだ”・・「春の星こんなに人が死んだのか」～数日後、一人に一枚毛布が行き渡る。毛布をかぶると、一人になれた。夜、押し殺したような泣き声が幾つも響く・・「毛布かぶり孤島となりて泣きにけり」～両親を亡くした生徒が四人。父か母を失った生徒が十六人。親戚や知人を入れればほとんどの生徒・教師が親しい人を亡くした・・「寒昂(かんすばる)たれも誰かのただひとり」。

東日本大震災から四度目の春を迎えても現地では復興は遅々としている。被災されたお一人お一人の“心の復興”を思うと・・春は、花冷えのままだ。

「ユマニチュード」という認知症ケアの注目されている手法がある。フランス語の造語で“人であることを尊重する”という意。ケアの柱は「見る」「話しかける」「触れる」そして「立つ」の4つだ。基本的に“病人”ではなくて“人間”として接することで、認知症の人との間に信頼関係が生まれ、周辺状況が劇的に改善して行く。ケアの手法を変えることで、認知症の人も変わり意思疎通が図れるようになる。先の4つのポイントを心がけるだけで、介護する人は驚くほど楽になり、介護される人は快適に穏やかになる・・。

ずっと、“立つ”ことの意味を考えている。支援の本質は、その人の“自立”を支援すること。このことは揺るがない・・、と思っている。



(M生)



＊「まちの縁側」～読書サロン 順調にスタート！＊

新企画「まちの縁側」～読書サロン～が、4月11日(土)午前10時から始まりました。

初回の本は、今話題沸騰、フランスの新進気鋭の経済学者 T・ピケティ「21世紀の資本」を取り上げました。この企画は、一冊の本を手掛かりに、参加された方々がそれぞれの想いを語り合う、という趣旨ですので、初回から、とって多様性に富んだ30代から80代までの、10名ほどの老若男女のみなさんが、生活感あふれる身近なリアリティあるお話をしていただき、感激しきりでした。結城から参加いただいた女性もおられて感動でした。

初めて顔を合わせる方々も多くて、新しい出会いと、これからの展開の予感とで楽しい集いとなりました。これから毎月1～2回程度の集いとなる予定ですので、どうぞ皆さんお気軽に、ご参加ください。お待ちしております。

(案内人・鈴木光尚 記)

＊ 藍を染めながら思うこと ＊

～藍紹座 風間幸造～

昭和30年代初頭、栃木県知事から天然藍染の復活を命じられた男が足利にいた。当時、足利の繊維工業試験場の職員で、今も市内にご健在の小此木照明先生である。

茨城県の特産品として知られる結城紬が、隣接した栃木県小山市でも染織されている事を証明するため、それに必要な天然藍染を論理的な文章表現で示す必要があった。しかし、普段藍染をしている職人達も、経験とカンで仕事をしているため藍染液の作り方を聞かれてもうまく説明が出来ない。困った氏は藍染の本場、徳島県の工業試験場まで訪ねて行ったが、そこでも当時は説明出来る人はいなかったという。

石油から化学的に作られた合成藍のように定量の薬品を混ぜ合わせれば染液が出来るものとは違い、天然藍は発酵させて染液を作る。その際に使う材料はすくも(藍草を発酵させて腐葉土状にした藍染の原料)、木灰、ふすまといった自然のものばかりだが、それがどういう作用で染まるようになるのかがわからないのだ。

失意の中で徳島を去ろうとしていた氏に職員の一人が「そういえば、藍の微生物を研究している人が先日来たな」と教えてくれた。千葉県に住む高原義昌博士だった。小此木氏は、藁にもすがる思いで高原博士の元を訪ねた。



ちょうどその頃、博士は藍の微生物の生態を調べていたが、染めの経験がないため藍染液を実際に作るのに必要なカンがつかめないうでいた。そこで、小此木氏が染液作りを手伝うことになり、二人三脚の研究が始った。そしてそれは、昭和36年に『細菌による藍の工業的還元に関する研究』という名の博士論文に結実したのである。

現在でもこの本は、藍染の微生物の生態について最高の権威である。京都の有名染料店で製品開発を担当している人や、徳島県で20年以上藍染を教えている人、その他にもこの本に学んでいる人を僕は知っている。そして、藍の発酵の仕組みがわかれば誰でも藍染は出来る。

2011年夏。僕は、足利で催した初めての藍染展示会場で、小此木先生にお会いした。誰かが藍染の展示会をしていると聞くと必ず行かれるのだそうだ。藍の微生物の生態を知りたくて知りたくてどうしようもなかった当時の僕に、神様が引き合わせてくれたのだと思う。

足利を「染物の街」と誰も呼ばなくなった今日。誰でも出来る天然藍染を、もう一度復活させたいと僕は思っている。

＊ 自死遺族のわかち合いの集い ～「エンゼルランプ」＊

宝物のわが子がある日、突然自ら命を絶ってしまいました。

わが子を亡くした親は、まさか・・・この思いが自責の念となって後悔し苦しみます。

何年経っても、わが子の面影を追いつけます。

今まで楽しかった場所は、辛く悲しい場所へと変わり、食べ物や人間関係その月日までもが辛くて切ないのです。これが自死遺族の現実です。

エンゼルランプ・・・小さな可愛いランプのような花。

花言葉は、貴方を守りたい。

わが子が心の中で生きていて、暖かく見守ってくれているようです。

集いの目的は、お子様を亡くされた方々が少しでも前向きに進んでいけますように、思いや悩みを分かち合い、つながりを持てる集いになればと、考えております。

私自身が辛くてどうにもならない時に、話し合える人が欲しかったのでした。

今、2年経ちまして、心は幾分落ち着いてきました。

きっと、私のような遺族の方たちがいらっしゃるに違いない。

その思いで、集いを開催いたしております。



「エンゼルランプ」 ～藤田 玲子

① インフォメーション ①

☆「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

だれにでも心に残る一冊の本があります。童話・小説・詩集・・・等々。
その一冊の本を導きの糸として、案内人を囲んで、参加者のみなさんと一緒に、
ワイワイガヤガヤ・・・と。新しい人との出会いや物語を紡いでみませんか。

★ 6月 11日(木) 午後 2時 ～

＊ 本 : 種田山頭火「山頭火句集」

＊案内人 : 日下部悲天さん

★ 7月 9日(木) 午後2時～

＊ 本 : 山田太一「思い出づくり」

＊案内人 : 星野信也さん

■会場:足利市民活動センター

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

☆ ボランティア・NPO 茶論

日 時 : 7月 4日(土) 午後 1時 30分 ～ 3時

会 場 : 足利市民活動センター 3F「みんなの広場」

内 容 : 「渡良瀬～生きる場の風景」

講師:花崎^{こうへい}皋平さん(哲学者、作家)

§「まちの縁側」、NPO 茶論の詳細はチラシ・HP をご参照ください。

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 6月・7月のご案内 ～

＊古時計展～掛時計の仲間たち(6月1日～11日)

＊彩美会 水彩画展(6月15日～25日)

＊遠い日のふるさと展(6月29日～7月9日)

～小林光次・ミニチュアの世界～

＊石と竹と幽冥人と・・・展(7月13日～23日)

＊四季の風景写真展(7月27日～8月6日)

♪ミニコンサート～春さんと仲間たち～♪

8/2(日)午後2時～3時 30分

Facebook の
QRコード



☆相談室&講座のご案内

＊相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

＊講 座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

編集後記

そろそろ空気ムシムシ肌ベタベタ髪の毛ウネウネのいや～な梅雨がやってくる
なあと思っていたら、やっぱり今年も真夏の暑さが一足先に顔を覗かせてきまし
た。ちょっと最近フライングしすぎですって言いたいです。(ゴロリ)

“ 講座・相談室のご案内 ”

【 相談室 】

日付	相談テーマ	相談員
6/10(水)	エンディング・ノート 活用セミナー	グループかたくり (佐野市行政書士会有志)
6/24(水)	地域を拓く N P Oの創り方教えます	鈴木 光尚さん (足利N P Oフォーラム代表理事)
7/8(水)	フリースクールはじめの一步	新井 街栄さん (若者・子ども支援“からふる”代表)
7/22(水)	“無名という栄光”を詠む	日下部 悲天さん (俳人)

時間 午後2時～午後4時

会場 足利市民活動センター（旧保健所）

【 講座 】

日時	講座名
6/27(土) 13:30～15:30	「傾聴のコツ～上手な話の聴き方③」 ＊講義＆ワークショップ 講師：永島 徹さん（社会福祉士事務所“風のささやき”代表）
7/16(木) 19:00～21:00	「民間ヘリコプターによる被災地支援～気仙沼発～」 講師：高橋 雅之さん (N P O法人オールラウンドヘリコプター代表理事/高橋ヘリコプターサービス代表・足利市)

会場 足利市民活動センター（旧保健所）

お問い合わせ・連絡先

〒326-0051 栃木県足利市大橋町1-2006-3（☎0284-44-7311）

“ 企 画 展 の ご 案 内 ”

期間	企画展名	出展者
6/1 (月) ～6/11 (木)	古時計展 ～掛時計の仲間たち～	小菅 忍さん
6/15(月) ～6/25(木)	彩美会 水彩画展	彩美会
6/29(月) ～7/9(木)	遠い日のふるさと展 ～小林光次・ミニチュアの世界～	小林 光次さん
7/13(月) ～7/23(木)	石と竹と幽冥人と・・・展 ～日下部悲天の世界～	日下部 悲天さん
7/27(月) ～8/6(木)	四季の風景写真展 ～ここに春さんの世界がある～ ♪ミニコンサート～春さんと仲間たち～♪ 8/2(日)午後2時～3時30分	春山 昌義さん

展示時間 午前 1 0 時～午後 7 時

休館日 土 ・ 日 ・ 祝